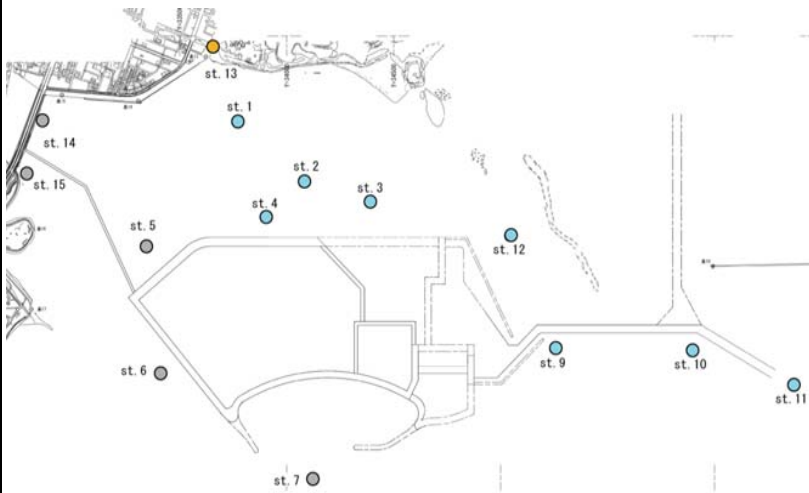
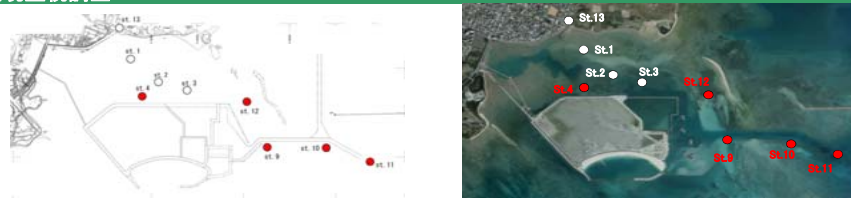


		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	全ての地点において監視基準値の超過はみられなかった(測定回数:27回)。 クビレミドロ監視地点での最大値は12月17日のst.2で2.2mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は12月3日のst.4で2.5mg/Lであった。		今月の県施工事は、橋梁/仮橋工事、鋼管引抜き、鋼管杭撤去、閉塞工、杭橋脚撤去、汚濁防止膜移設等、養浜整備工事で、養浜砂(投入・均し)等、護岸/防波堤工事で、裏込材(投入・均し)、袋型根固工用袋材設置、上部コンクリート打設等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。		
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で基準値(7mg/L)を満足していた。 平均値は1.2mg/L、1.0～2.2mg/Lの範囲で推移していた。	今月の国施工事は、泊地浚渫工事で、汚濁防止膜設置、浚渫等、護岸工事及び橋梁撤去工事で、橋梁上部・橋梁杭橋脚補強、PC覆工板設置、仮設高欄・PC覆工板・鋼製覆工板・橋梁上部・橋梁杭橋脚撤去、H鋼杭引抜、基礎捨石(積込/投入)、基礎捨石白石、捨石荒均し等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。	
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.1mg/L、1.0～2.5mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=5回(27計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(27計測中) 平均値は8.4mg/L、2.7～40.6mg/Lの範囲で推移していた。		
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	12/22の40.6mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日53.0mmであった。		
基準超過時の気象概況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 		
基準超過時の工事状況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。				

中城湾港環境監視調査

【調査位置図】



工事の濁り監視地点

監視基準: st.4 ~ st.12 = 11mg/L

※観測値は、1日1回、上層(水面より50cm)、中層(上下層の中間)、下層(底上20cm)の各種の平均値とした。

※天気・風向・風力は観測時における現地確認とした。

※降水量はアメダス(沖縄市胡里)のデータを用い、24時間(1日)の合計を示した。

※潮は調査時間帯における「上げ潮」、「下げ潮」の状況を示した。また、潮位は中城峡湖所における定時観測値を使用した。

※表中の赤色で着色した値は基準値(st.4 ~ 12 = 11mg/L)を超えたことを示す。

※荒天もしくは干潮時等により観測が出来ない場合、工事未実施の場合は欠測とし、表中では「-」で示した。

※「濁り監視調査」は8/9から開始した。

※11/8(月)は軽石の影響のため、沖合の調査地点であるst.11のみ実施した。

Table with columns for observation date (観測日), tide name (潮名), high tide time (満潮時刻), low tide time (干潮時刻), weather (天気), wind direction (風向), wind speed (風力), precipitation (降水量), tide name (潮), and water level (潮位). Rows include dates from 12/1 to 12/31 and various tide names like 中潮, 大潮, 小潮.

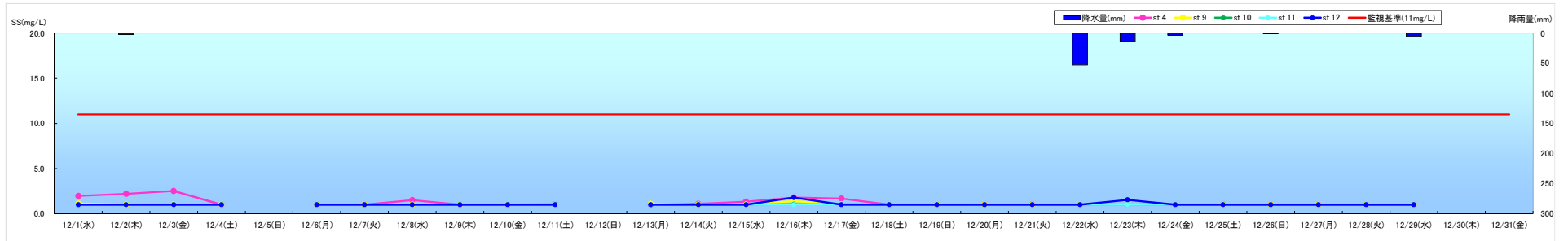
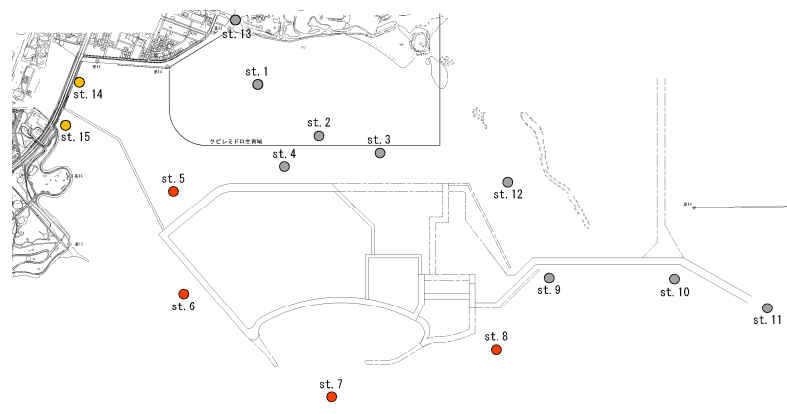


Table of construction activities categorized by type (e.g., 陸揚工事, 橋梁工事, 護岸工事) and date (12/1 to 12/31). Each cell lists specific tasks such as '鋼管杭引抜き' or '基礎杭石投入'.

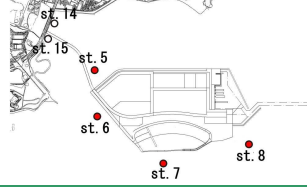
第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和3年12月1日～令和3年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討	
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は12月24日(PM)のst.5で観測された5.8mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.6mg/L、<1.0～5.8mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=27計測中14回 st.15=27計測中18回 SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=27計測中1回 st.15=27計測中0回</p>	<p>特になし</p>	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 12/16 (PM 上げ潮時)66mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。濁りの滞留が見られた。 st.15: 12/22 (AM 下げ潮時)31mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が53.0mmであった。降雨による陸域からの濁水流入が見られた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>				
		<p>【調査位置図】</p> 			

中城湾環境監視調査

【調査位置図】



工事の濁り監視地点

監視基準: st.5~st.8 = 11mg/L

※観測値は、定時観測(10時、15時)の1日2回、上層(水面より50cm)、中層(上層下の中間)、下層(底上20cm)の各層の平均値とした。

※天気・風向・風力は定時観測時における現地確認とした。

※降水量はアメダス(沖縄市胡堂)のデータを用い、12時(0時~12時、12時~24時)の合計を示した。

※潮は調査時間帯における「上げ潮」、「下げ潮」の状態を示した。また、潮位は中城港潮所における定時観測値を使用した。

※表中の赤色で着色した値は基準値(st.5~8:11mg/L)を超えたことを示す。

※荒天もしくは干潮時等により定時観測が出来ない場合、工事未実施の場合は欠測とし、表中では「-」で示した。

※「濁り監視箇所」は8/1から開始した。

Table with 32 columns for dates from 12/1(水) to 12/31(金). Rows include: 観測日 (Measurement date), 観名 (Station name), 満潮時刻 (High tide time), 干潮時刻 (Low tide time), 定時観測 (Regular observation), 天気 (Weather), 風向 (Wind direction), 風力 (Wind speed), 降水量(mm) (Precipitation), 潮 (Tide), 潮位(cm) (Water level), and data for stations st.5, st.6, st.7, st.8.

SS(mg/L)

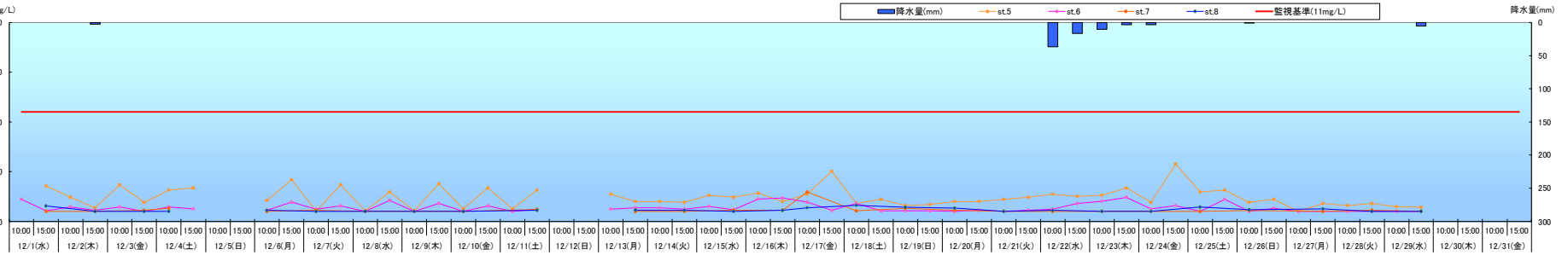


Table detailing construction work items. Columns are grouped by station/stage: 設置 (Installation), 汚濁防止措置 (Pollution prevention measures), 撤去 (Removal), 養生 (Protection). Rows include: 国 (National), 現場工事・構架撤去工事 (On-site work/structure removal work), 橋梁/仮橋脚工事 (Bridge/Temporary pier work), 県 (Prefecture), 養護工事 (Maintenance work), 橋脚工事 (Pier work).

